

伊豆縦貫自動車道（^{あまぎ}天城湯ヶ島^{ゆがしま}～^{かわづ}河津）
第2回 意見聴取結果

国土交通省 中部地方整備局

平成29年12月13日

目 次

1. 第2回意見聴取の結果 2
1)意見聴取の概要 3
2)回答者属性 7
3)ルート帯案重要事項 9
4)インターチェンジ重要事項 11
5)自由意見、ヒアリング結果(ルート帯案重要事項) 13
6)自由意見、ヒアリング結果(インターチェンジ重要事項)	... 17

1. 第2回意見聴取の結果

1. 第2回意見聴取の結果 1)意見聴取の概要①

■意見聴取に際し、補足説明資料を作成し、アンケート票に同封した。

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画に関する第2回アンケート

本アンケートは、伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)の計画にあたり、皆さまの生活に役立つ道路となるよう、周辺地域の皆さまのご意見をお聴かせ頂くために実施するものです。
本アンケートは全2回行い、2回目となる本調査では、伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)について、対策案(ルート対策)を検討する際に、配慮すべき(重要)と思う事項等について、ご意見を伺いたく、ご協力をお願いいたします。
回答いただいた内容は、国土交通省沼津河川国道事務所にて集計を行います。

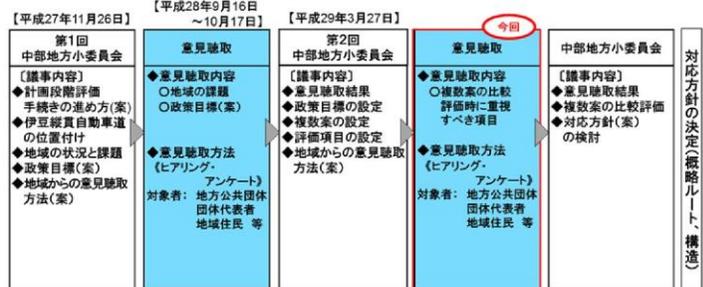
- 伊豆縦貫自動車道は、延長約60kmの高規格幹線道路です。
- ・伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島の骨格を形成し、地域の「命の道」となる延長約60kmの高規格幹線道路です。
- ・伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)は、天城北道路と河津下田道路の間に位置する道路です。

■このアンケートの対象は、天城湯ヶ島～河津の区間です。



手続きの流れ

■計画段階評価の流れ ※計画段階評価とは、新路線探検や特許取得の段階において、政策目標を明確化した上で、機能のルートの位置や基本的な道路構造等の比較・評価を行うもの。



第1回意見聴取にご協力いただきありがとうございました。
意見聴取の結果(概要)を以下のとおり、お知らせします。

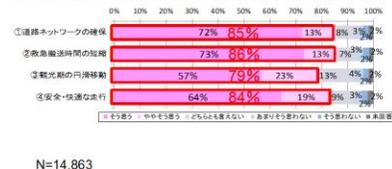
■アンケート結果

1. 天城湯ヶ島～河津間の国道414号の課題について



■回答者の約8割の方が「①災害時のルート確保」、「③医療施設への所要時間」、「④観光観光」、「⑤路幅不良」を当該区間の道路の課題だと思っている。

2. 天城湯ヶ島～河津間の国道414号に求められる機能について



■回答者の約8割の方が、「①道路ネットワークの確保」、「②救急搬送時間の短縮」、「③観光期の円滑移動」、「④安全・快適な走行」を当該区間の道路に求められる機能・役割だと思っている。

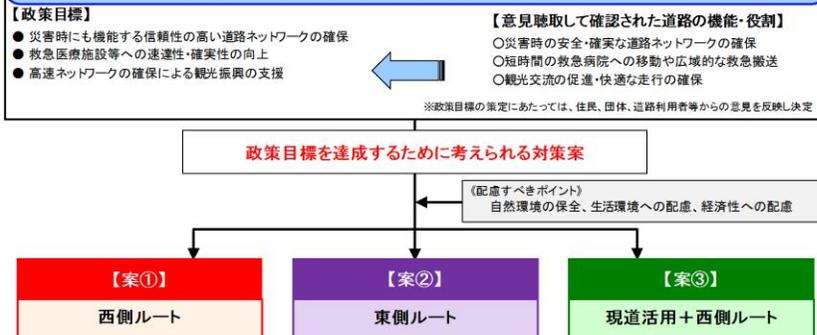
■ヒアリング結果

<道路の課題>

- ・災害発生時、国道414号は緊急輸送ルートとして県内外からの支援を受けるための重要な道路であるが、道路が脆弱であるため崖崩れ等の被害により寸断され緊急救助隊や自衛隊の進出、救援物資の投入、救急広域搬送に大きな影響を及ぼす。(自衛隊・消防)
 - ・管轄外医療機関への救急搬送に長時間を要するため、一刻を争う傷病者への精神的な負担と症状悪化のリスクが高まる。(消防)
 - ・河津桜ツアーに関連するツアーは、周辺のイチゴ狩りや雛のつし飾りまつりが組まれているが、渋滞によって桜以外の行程がキャンセルされることがある。(旅館組合)
 - ・天城峠付近の道路勾配やカーブの曲率がきつ、スピードが出せない。冬季は、雪・凍結により通行が困難。(病院・観光協会・渋谷区)
- <道路に求められる機能・役割>
- ・相模トラフ、南海トラフ、首都直下地震などの地震の際に、自治体間の相互支援を迅速に行うことができるようになると思う。(自治体)
 - ・救急搬送の時間短縮で、救える命が増える。(警察・病院・観光協会・伊豆市他)
 - ・自動車移動の時間が短縮と、「観光ツアーに組みやすい」「産業が進展しやすい」「人口が張り付きやすい」等のメリットがある。(山梨県・観光協会)
 - ・揺れによる農作物の傷み等により損失が減るとともに、農業資材や肥料の運搬コスト等も抑えられると思う。(農協)

皆さまからいただいたご意見を踏まえた政策目標に対する案を次のように立案しました。

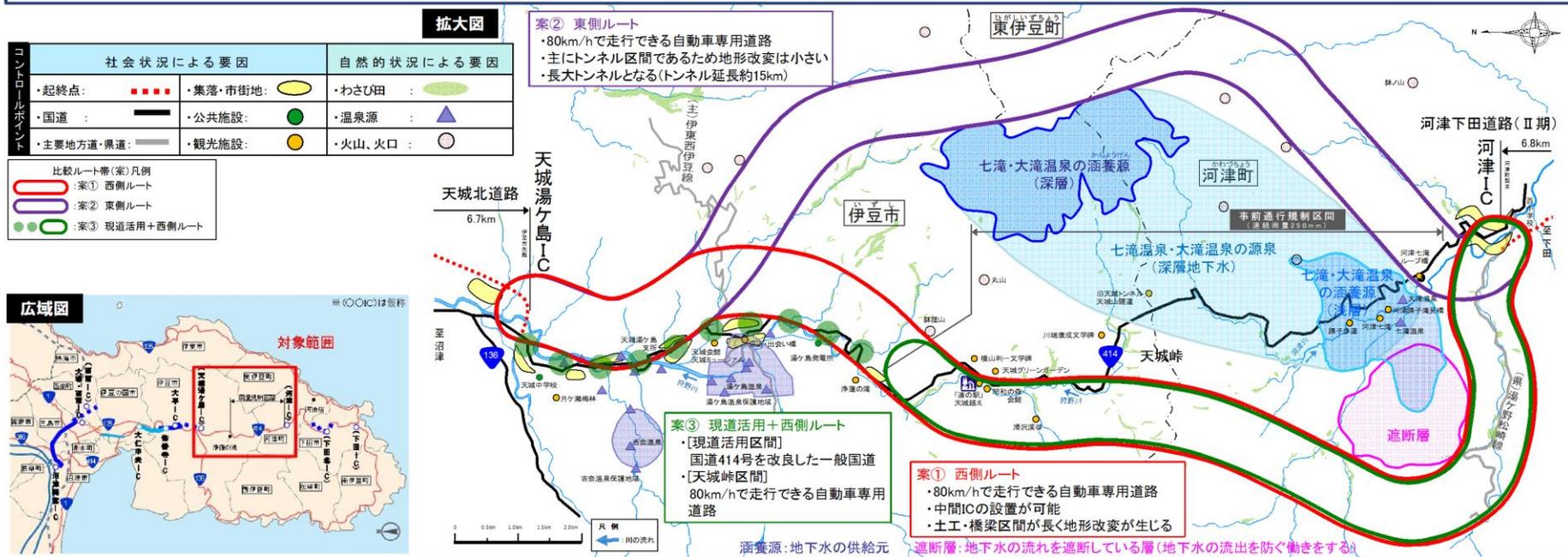
将来像を踏まえた道路に求められる機能・役割と政策目標



1. 第2回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要②

地域の課題を解決するために、以下のような対策案（3つの比較案）を検討しています。
皆様のご意見をお聴かせください。



各ルート帯案の比較表

評価項目	案①:西側ルート	案②:東側ルート	案③:現道活用+西側ルート
ルート帯案概要	概要 80km/hで走行できる自動車専用道路 延長 約20km	概要 80km/hで走行できる自動車専用道路 延長 約20km	概要 国道414号を改良した一般道路+80km/hで走行できる自動車専用道路 延長 約20km
災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保	災害 事前通行規制区間を回避し、代替性を確保 危険物積載車両制限なし	災害 事前通行規制区間を回避し、代替性を確保 一部の区間で危険物積載車両制限がある	災害 事前通行規制区間を回避し、代替性を確保 危険物積載車両制限なし
	防災 現道国道414号の代替路として緊急輸送ネットワークの構築に寄与する	防災 現道国道414号の代替路として緊急輸送ネットワークの構築に寄与する	防災 国道414号の改良区間では、代替路が確保されない
	救急医療施設等への到達性、確実性の確保 救急医療施設等へ早く到達できる	救急医療施設等へ早く到達できる	案①、案②に比べて救急医療施設等へ早く到達できる
	安全性 急カーブ箇所が全て解消される	急カーブ箇所が全て解消される	急カーブ箇所が全て解消される
高速ネットワークの確保による観光振興の支援	観光産業 浄蓮の滝などの主要な観光施設にアクセスしやすい	案①に比べて浄蓮の滝などの主要な観光施設にアクセスしにくい	浄蓮の滝などの主要な観光施設にアクセスしやすい
	到達性 信号交差点のない自動車専用道路であるため到達性に優れる	信号交差点のない自動車専用道路であるため到達性に優れる	信号交差点があり、案①、案②に比べて、到達性に劣る
自然環境の保全	温泉 温泉影響範囲を回避しており、地域の水資源への影響がない	温泉影響範囲を回避しており、地域の水資源への影響がない	温泉影響範囲を回避しており、地域の水資源への影響がない
	景観 案②に比べて地形変化が大きい	トンネル区間がほとんどであり地形変化が小さい	案②に比べて地形変化が大きい
生活環境への配慮	通過交通が分離され、集落・市街地付近の沿道環境への影響が少ない	通過交通が分離され、集落・市街地付近の沿道環境への影響が少ない	集落・市街地付近に通過交通と生活交通が集中し、①②に比べて沿道環境への影響が大きい
経済性への配慮	約1,300~1,500億円	約1,400~1,600億円	約1,100~1,300億円

質問事項

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項
※左に示した「各ルート帯案の比較表」を参考にお答えください。
質問1 この地域(天城湯ヶ島~河津)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことはなんですか。以下の①~⑨の項目について5段階評価してください。

<5段階評価> 5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言いえない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない。

①危険物積載車両等を含む全ての車が通行できることが重要
②代替路が確保され、災害時にも通行ができることが重要
③救急病院へ早く到達できることが重要
④観光施設や集落に早く、快適にアクセスできることが重要
⑤温泉やわさび、地下水など自然環境への影響が小さいことが重要
⑥景観への配慮がなされていることが重要
⑦集落や市街地の沿道環境への影響が少ないことが重要
⑧整備費用が安いことが重要
⑨その他(自由回答)

※危険物積載車両：火薬類、爆発物・毒物・劇物・水や空気と作用して発火する物質等の危険物を積載した車両

インターチェンジの設置を検討する際に、配慮すべき事項
質問2 インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。以下の①~④の項目について5段階評価してください。

<5段階評価> 5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言いえない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない。

①市街地(集落等)への連絡性が良い
②周辺の観光地への連絡性が良い
③アクセス道路が十分な機能を有している
④その他(自由回答)

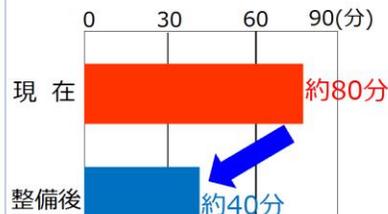
質問3 天城湯ヶ島~河津間の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

1. 第2回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要③

第2回意見聴取の補足資料

下田～順天堂大学病院の所要時間



民間プローブデータ(H28年10月平日)を元に試算

中伊豆わさび農園



「静岡水わさびの伝統栽培」
日本農業遺産に認定

じょうれん たき 浄蓮の滝



名曲「天城越え」でも知られる
伊豆を代表する名瀑「日本の滝百選」の一つ

下田港



金目鯛水揚げ高日本一(全国シェアの約4割)
陸送で首都圏の市場へ



- 【ルート帯案】
- 案①西側ルート
 - 案②東側ルート
 - 案③現道活用+西側ルート

- 【凡例】
- 国道
 - 主要地方道・県道
 - 有料道路
 - 伊豆縦貫道(開通済)
 - 伊豆縦貫道(事業中)
 - ★ 観光施設
 - 🏥 第三次救急医療施設(※)
 - 🚤 漁港(県管理)
 - 🌿 わさび田分布域

(※)大やけど、脳卒中など「生命の危険に瀕している状況」の患者に対し、高度な医療を24時間体制で提供する医療機関

<各ルート帯案の整備イメージ>

現在



案①：西側ルート

自動車専用道路



案②：東側ルート

自動車専用道路



案③：現道活用+西側ルート

現道活用部



1. 第2回意見聴取の結果

1)意見聴取の概要④

- 意見聴取では、住民や道路利用者の性別、年齢、自動車の利用頻度、国道414号の利用目的等を質問。
- 団体に対しては、業種等を質問。

■住民アンケート用回答はがき

(表面)

郵便はがき

科金受取人私郵便
沼津局承認
1251

4 1 0 8 5 6 7

4 9 2

平成29年10月31日まで
【切手不要】

静岡県沼津市下香貴外原3244-2
国土交通省沼津河川国道事務所
計画課 行

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)に関するアンケート

あなた自身についてお聞かせください(Q1～Q4)。

住所	<input type="checkbox"/> 1:伊豆市 () <input type="checkbox"/> 2:河津町 () <input type="checkbox"/> 3:下田市 () <input type="checkbox"/> 4:東伊豆町 () <input type="checkbox"/> 5:南伊豆町 () <input type="checkbox"/> 6:松崎町 () <input type="checkbox"/> 7:西伊豆町 ()
性別	<input type="checkbox"/> 1:男性 <input type="checkbox"/> 2:女性
年齢	<input type="checkbox"/> 1:19歳以下 <input type="checkbox"/> 2:20代 <input type="checkbox"/> 3:30代 <input type="checkbox"/> 4:40代 <input type="checkbox"/> 5:50代 <input type="checkbox"/> 6:60代 <input type="checkbox"/> 7:70歳以上
自動車利用	<input type="checkbox"/> 1:ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 2:週に数回程度 <input type="checkbox"/> 3:月に数回程度 <input type="checkbox"/> 4:ほぼ利用しない <input type="checkbox"/> 5:全く利用しない
利用目的	<input type="checkbox"/> 1:通勤・通学 <input type="checkbox"/> 2:業務 <input type="checkbox"/> 3:観光・娯楽 <input type="checkbox"/> 4:買い物 <input type="checkbox"/> 5:通院等 <input type="checkbox"/> 6:その他:
目的地	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村()

ご協力ありがとうございました。

(裏面)

対策案(ルート帯案)を検討する際に、
政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項

Q5 この地域(天城湯ヶ島～河津)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことはありますか。以下の①～⑧の項目について5段階評価してください。

<5段階評価>
5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない

重要な事項	あなたの評価の程度
①危険物積載車両等を含む全ての車が通行できることが重要	5 4 3 2 1
②代替路が確保され、災害時にも通行ができることが重要	5 4 3 2 1
③救急病院へ早く到達できることが重要	5 4 3 2 1
④観光施設や集落に早く、快適にアクセスできることが重要	5 4 3 2 1
⑤温泉やわびさび、地下水など自然環境への影響が小さいことが重要	5 4 3 2 1
⑥景観への配慮がなされていることが重要	5 4 3 2 1
⑦集落や市街地の沿道環境への影響が少ないことが重要	5 4 3 2 1
⑧整備費用が安いことが重要	5 4 3 2 1
⑨その他【自由回答】	

Q6 インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか。以下の①～③の項目について5段階評価してください。

<5段階評価>
5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない

配慮すべき事項	あなたの評価の程度
①市街地(集落等)への連絡性が良い	5 4 3 2 1
②周辺の観光地への連絡性が良い	5 4 3 2 1
③アクセス道路が十分な機能を有している	5 4 3 2 1
④その他【自由回答】	

Q7 天城湯ヶ島～河津間の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

ご協力ありがとうございました。

■団体アンケート用回答はがき

(表面)

郵便はがき

科金受取人私郵便
沼津局承認
1251

4 1 0 8 5 6 7

4 9 2

平成29年10月31日まで
【切手不要】

静岡県沼津市下香貴外原3244-2
国土交通省沼津河川国道事務所
計画課 行

伊豆縦貫自動車道(天城湯ヶ島～河津)に関するアンケート

貴事業所についてお聞かせください(Q1～Q5)。

業種	<input type="checkbox"/> 1:農業 <input type="checkbox"/> 2:林業 <input type="checkbox"/> 3:漁業 <input type="checkbox"/> 4:鉱業・採石業・砂利採取業 <input type="checkbox"/> 5:建設業 <input type="checkbox"/> 6:製造業 <input type="checkbox"/> 7:電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> 8:情報通信業 <input type="checkbox"/> 9:運輸業・郵便業 <input type="checkbox"/> 10:卸売業・小売業 <input type="checkbox"/> 11:金融業・保険業 <input type="checkbox"/> 12:不動産業・物品賃貸業 <input type="checkbox"/> 13:学術研究・専門・技術サービス業 <input type="checkbox"/> 14:宿泊業・飲食サービス業 <input type="checkbox"/> 15:生活関連サービス業・娯楽業 <input type="checkbox"/> 16:教育・学習支援業 <input type="checkbox"/> 17:医療・福祉 <input type="checkbox"/> 18:複合サービス事業 <input type="checkbox"/> 19:その他サービス業 <input type="checkbox"/> 20:その他()
住所	<input type="checkbox"/> 1:伊豆市 () <input type="checkbox"/> 2:河津町 () <input type="checkbox"/> 3:下田市 () <input type="checkbox"/> 4:東伊豆町 () <input type="checkbox"/> 5:南伊豆町 () <input type="checkbox"/> 6:松崎町 () <input type="checkbox"/> 7:西伊豆町 ()
車種	<input type="checkbox"/> 1:軽自動車 <input type="checkbox"/> 2:乗用車 <input type="checkbox"/> 3:小型貨物車 <input type="checkbox"/> 4:大型貨物車 <input type="checkbox"/> 5:バス <input type="checkbox"/> 6:タクシー <input type="checkbox"/> 7:二輪車 <input type="checkbox"/> 8:所有していない
自動車利用	<input type="checkbox"/> 1:ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 2:週に数回程度 <input type="checkbox"/> 3:月に数回程度 <input type="checkbox"/> 4:ほぼ利用しない <input type="checkbox"/> 5:全く利用しない
目的地	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村()

ご協力ありがとうございました。

(裏面)

対策案(ルート帯案)を検討する際に、
政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項

Q6 この地域(天城湯ヶ島～河津)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことはありますか。以下の①～⑧の項目について5段階評価してください。

<5段階評価>
5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない

重要な事項	あなたの評価の程度
①危険物積載車両等を含む全ての車が通行できることが重要	5 4 3 2 1
②代替路が確保され、災害時にも通行ができることが重要	5 4 3 2 1
③救急病院へ早く到達できることが重要	5 4 3 2 1
④観光施設や集落に早く、快適にアクセスできることが重要	5 4 3 2 1
⑤温泉やわびさび、地下水など自然環境への影響が小さいことが重要	5 4 3 2 1
⑥景観への配慮がなされていることが重要	5 4 3 2 1
⑦集落や市街地の沿道環境への影響が少ないことが重要	5 4 3 2 1
⑧整備費用が安いことが重要	5 4 3 2 1
⑨その他【自由回答】	

Q7 インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか。以下の①～③の項目について5段階評価してください。

<5段階評価>
5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない

配慮すべき事項	あなたの評価の程度
①市街地(集落等)への連絡性が良い	5 4 3 2 1
②周辺の観光地への連絡性が良い	5 4 3 2 1
③アクセス道路が十分な機能を有している	5 4 3 2 1
④その他【自由回答】	

Q8 天城湯ヶ島～河津間の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

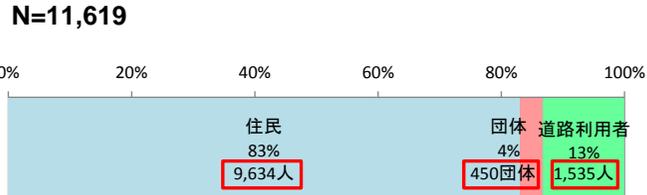
ご協力ありがとうございました。

1. 第2回意見聴取の結果

2) 回答者属性①

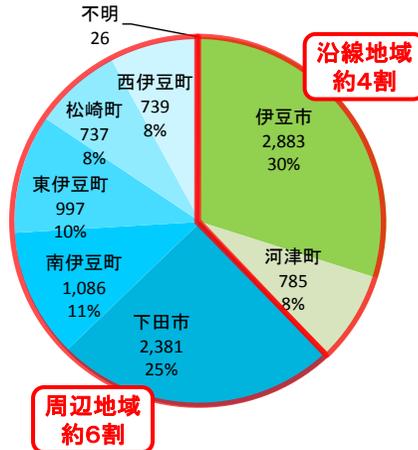
- 住民約9,634人、団体450社、道路利用者約1,535人から意見聴取を実施。
- 住民アンケートは、沿線地域である伊豆市と河津町からの回答が約4割を占める。
- 回答者の性別は男性が約7割を占め、年代別に見ると住民アンケートは世帯主と想定される60～70代からの回答が約7割を占め、道路利用者アンケートは20～70代の各年代の方からバランスよく回答をいただいた。

アンケート回収状況(再掲)

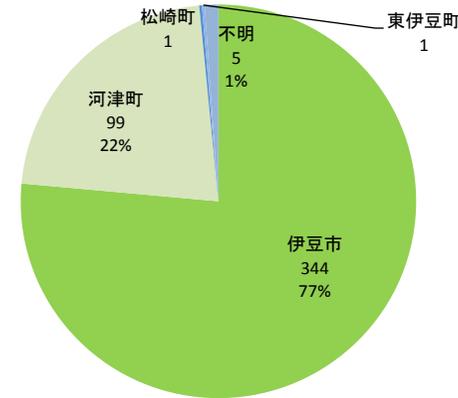


住所(再掲)

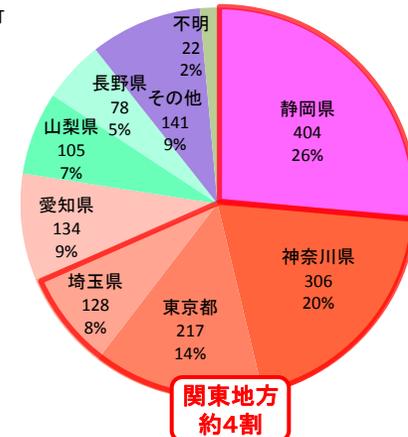
住民 N=9,634



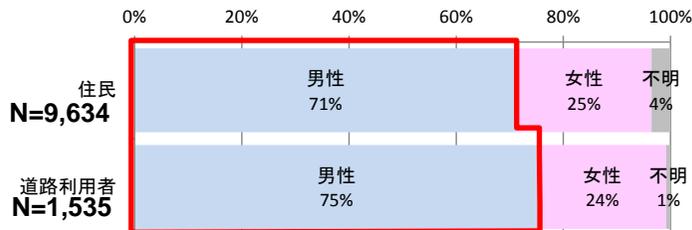
団体 N=450



道路利用者 N=1,535

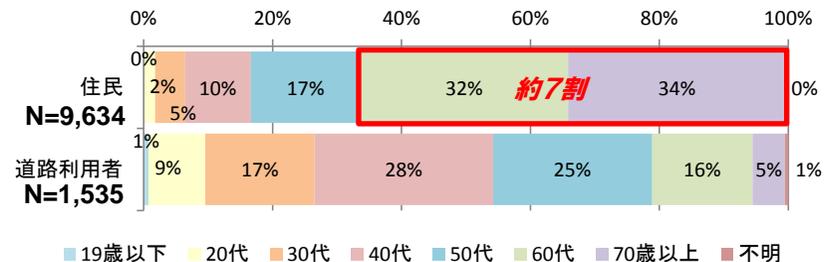


性別



7割以上

年齢

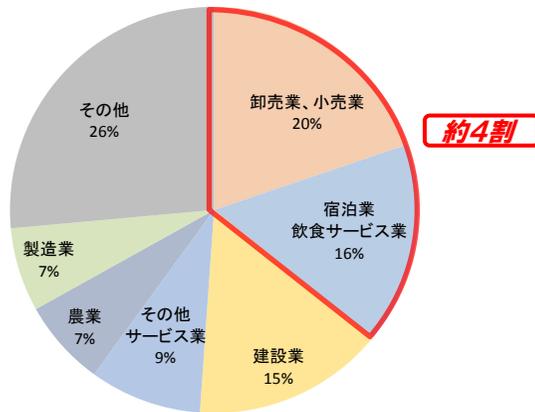


1. 第2回意見聴取の結果 2)回答者属性②

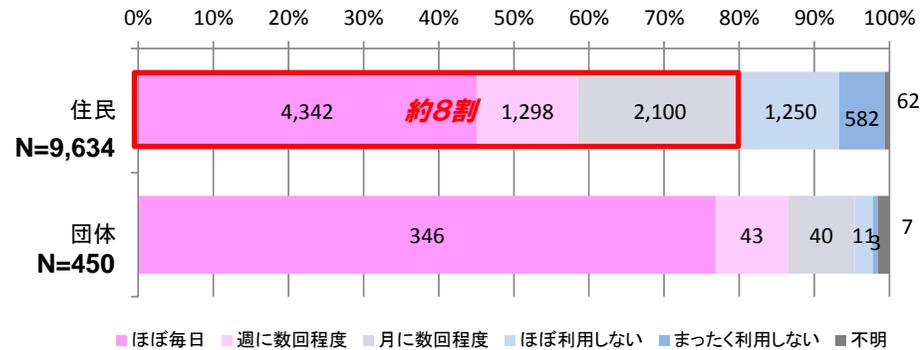
- 団体アンケートは、観光に関わる「卸売業・小売業」、「宿泊業・飲食サービス業」からの回答が約4割。
- 住民の約8割が自動車を「月数回以上利用している」と回答。
- 住所（市町）別では、評価対象区間以南の河津町、下田市、南伊豆町、次いで伊豆市の利用頻度が高い。
- 住民の利用目的は、「通勤・通学」、「買い物」が目的の方が多く、道路利用者は「観光・娯楽」を目的とする方が多い。

業種

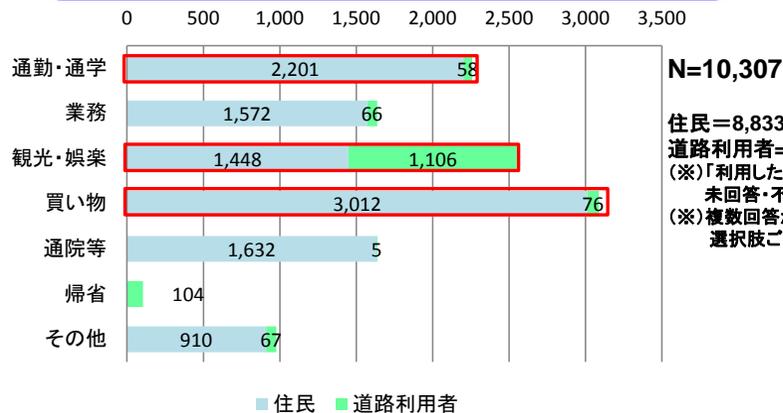
N=450



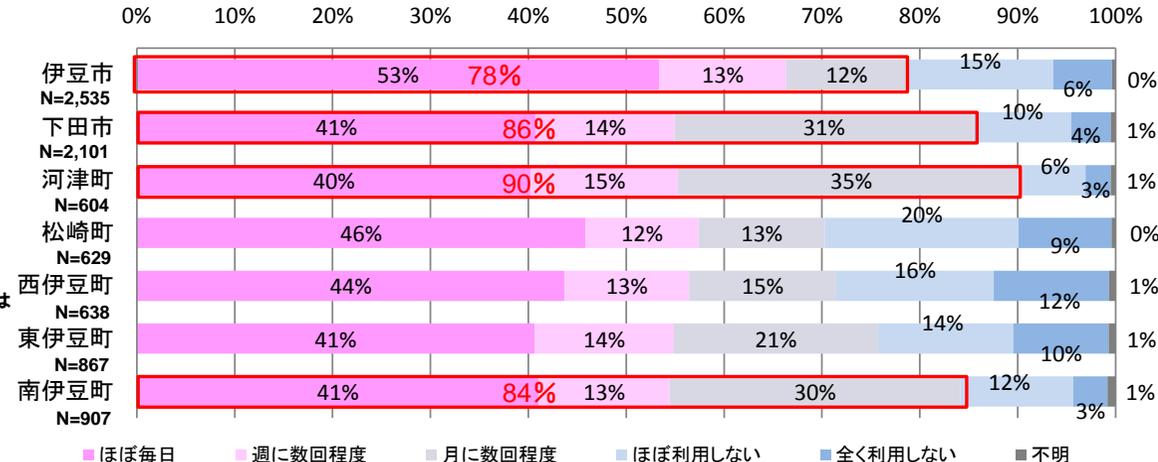
自動車の利用頻度



現在の国道414号(天城湯ヶ島～河津)の利用目的



住所(市町村)別利用頻度

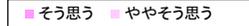


1. 第2回意見聴取の結果 3)ルート帯案重要事項

- 「⑤温泉やわさび、地下水など自然環境への影響が小さいこと」、「⑥景観への配慮」、「⑦集落や市街地の沿道環境が少ないこと」に対しては、当該道路の経過地となり得る市町村において関心が高い。
- その他の項目については、市町村別で顕著な傾向は見られなかった。

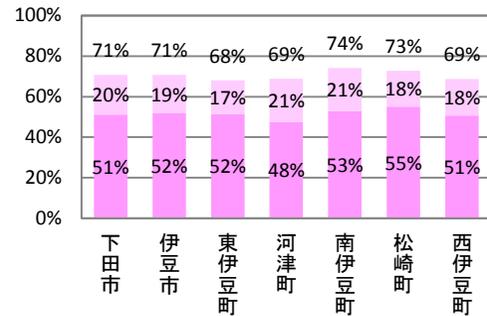
市町村別重要事項(住民)

凡例

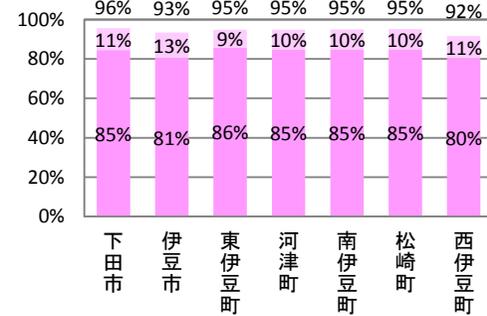


	伊豆市	下田市	河津町	松崎町	西伊豆町	東伊豆町	南伊豆町	合計
N	2,883	2,381	785	737	739	997	1,086	9,608

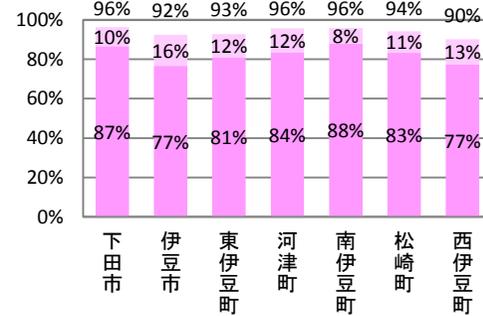
①危険物積載車両を含むすべての車が通行できること



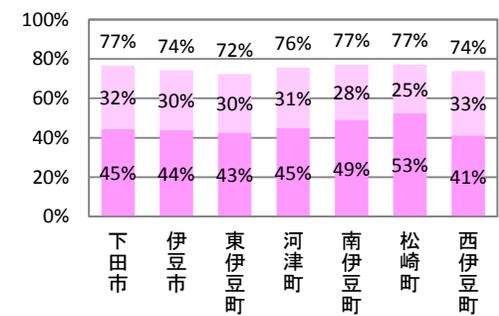
②代替路が確保され、災害時にも通行できること



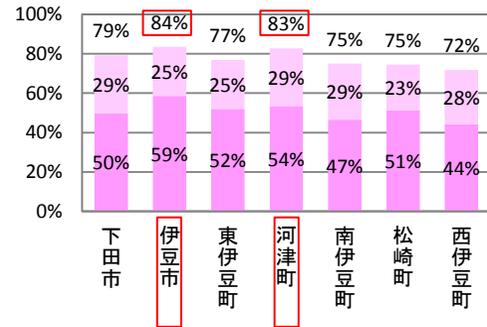
③救急病院へ早く到達できること



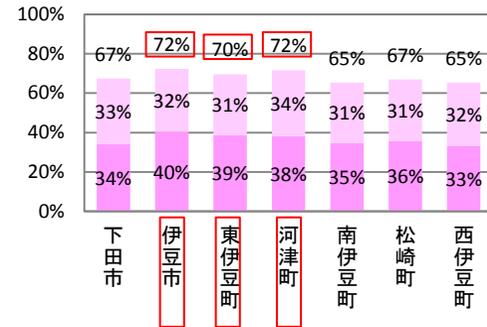
④観光施設や集落に早く、快適にアクセスできること



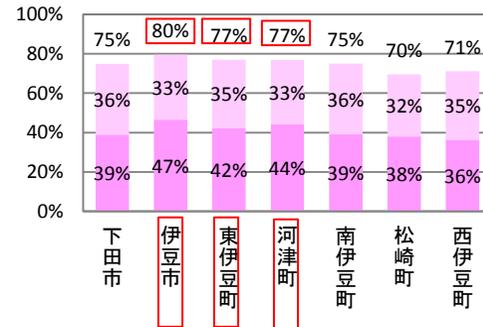
⑤温泉やわさび、地下水など自然環境への影響が小さいこと



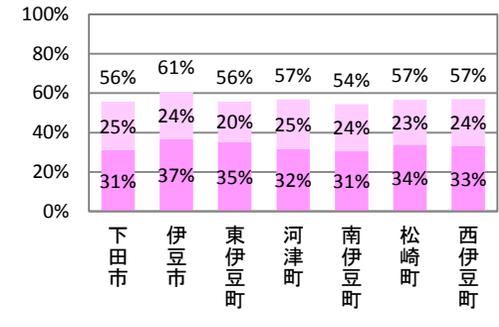
⑥景観への配慮がなされていること



⑦集落や市街地の沿道環境への影響が少ないこと



⑧整備費用が安いこと



1. 第2回意見聴取の結果

5)自由意見、ヒアリング結果(ルート帯案重要事項①)

- 通行規制面では、危険物積載車両を含む全ての車が通行できる道路を求める意見が寄せられた。
- 防災面では、地震や大雨、冬期の積雪等の災害に強く、代替機能が確保される道路や規格の高い道路を求める意見が寄せられた。

分類	回答者属性	主な意見
通行規制	団体/伊豆市	全ての車両が通行可能で、沿線道路とのアクセスがいい道路を望む。そのため、災害時を考えると長いトンネルは好ましくない。
	自衛隊、静岡県、伊豆市、河津町、下田市、下田消防本部	危険物積載車両を含むすべての車が通行できることが重要であり、有事の際も含めて、様々な大型車が安定的に、信頼性が高く走行できることが重要。
	下田市商工会	タンクローリーが通れないルートの場合、ガソリン供給について伊豆南部地域が恩恵を受けることができない。
	裾野市	危険物積載車両の制限は無い方が伊豆半島の活性化に大きく繋がると思う。
	伊豆市商工会	通行規制のない道路を選択することが、将来的に伊豆半島の幹線道路としての価値が存続されていくのではないかと。
防災	団体/伊豆市	下田市までの時間短縮、災害時に強い道路を作ってもらいたい。雪や大雨等で通行止になりにくい道路が良い。
	道路利用者/柏市	自然災害が起こっても通行止めにならない道路作りをして欲しい。
	住民/下田市/60代	雨量規制もある中、降雨時も安心して通行できる道路の整備をお願いしたい。
	住民/伊豆市/60代	代替路の確保も必要だが、災害の起きにくい道路が望ましい。
	自衛隊、静岡県、山梨県河津町、天城湯ヶ島温泉旅館組合、南伊豆町商工会、伊豆赤十字病院、大仁警察署、沼津土木事務所、長野県、平塚市	南海トラフ巨大地震等の大規模災害時における代替路・緊急輸送道路・救護ルートとしての機能の確保が重要。
	河津町観光協会、函南町役場、東伊豆町	災害時に家屋倒壊や電柱によって道路が遮断される可能性を考えると、高規格の自動車専用道路を通したほうが、大いに役に立つ道になる。
	清水町、JA伊豆太陽、東伊豆消防署	夏期は雨、冬期は凍結や積雪の問題があるため、それらの影響を受けずに、速く安全に走行できる道路整備が重要である。
下田温泉旅館組合、順天堂大学医学部附属静岡病院	所要時間が短縮されることと、雨量規制により陸の孤島にならないことが重要。	

1. 第2回意見聴取の結果 5)自由意見、ヒアリング結果(ルート帯案重要事項②)

- 医療面では、速達性、確実性、患者に負担のかからない線形等を求める意見が寄せられた。
- 観光面では、観光渋滞の解消や沿線の主要観光施設へのアクセス性、速達性、定時性の向上を求める意見が寄せられた。

分類	回答者属性	主な意見
医療	住民/南伊豆町/60代	病院へ行くとき天城越えでは時間がかかり命を落とす可能性がある。
	住民/河津町/50代	病院への搬送に時間が掛かる。道路が無いせいで亡くなる方も多いと思う。早期に開通すれば通院も楽になり安心。
	住民/伊豆市/60代	赤十字血液センター勤務で病院へ輸血用血液を供給しているが、当区間ではカーブが多く、サイレン走行時に危険を感じる。
	順天堂大学医学部附属静岡病院、沼津市立病院、河津町	救急患者搬送に道路を使用する際、一刻も早い到着の望めるルートがよい。
	田方南消防署	現場到着や搬送時間の短縮のためには、インターチェンジがある上で、全線自動車専用の道路がいいと思う。
	下田消防本部	カーブや勾配が少なく、走行環境の良い道路となることで、患者の負担が減り、走行速度も上がる。
	伊豆赤十字病院	伊豆赤十字病院の血液センターから下田までは1時間以上かかるため、速達性、確実性が重要。
	東伊豆消防署	救急搬送の面としては、積雪の影響を受けにくく、代替性があることが重要である。
	日本旅行業協会	旅行をする際に、ホテルで倒れる人もおり、病院への行きやすさを気にする人も多い。
観光	住民/伊豆市/60代	春秋の行楽シーズン、夏の海水浴シーズン、河津桜シーズンでは毎年渋滞に悩まされている。
	団体/河津町	現在の道路は曲がりがきつく、狭いため今後観光施設へのアクセスを良くしてもらいたい。
	住民/下田市/70歳以上	高速道路ができたことで観光地がさびれたりしないような配慮をして欲しい。
	団体/伊豆市	渋滞があるので伊豆を敬遠する人が多い。道路が整備されて沢山の方に訪れて楽しんでもらいたいです。
	道路利用者/御殿場市	行楽シーズンの渋滞がひどいので、何とかして欲しい。
	伊豆市、天城湯ヶ島温泉旅館組合、日本旅行業協会、松崎町、静岡県東部支援局、道の駅天城越え、賀茂振興局	浄連の滝や道の駅等の主要な観光地にアクセスしやすい事が重要。
	静岡県、山梨県、大仁警察署、伊東市、西伊豆町、東伊豆町	平面交差点は渋滞するため、観光渋滞を考えると全線自動車専用道路が良い。
	河津町	渋滞解消に寄与し河津桜まつりの時もバス等の定時性が確保されるルートが良い。
	河津町商工会、稲取温泉旅館協同組合、松崎町観光協会、三島市、伊東市	速達性が期待できる信号のない道路の方が伊豆半島全体の周遊促進につながり、観光客に立ち寄ってもらう機会が増える。
	下賀茂温泉旅館協同組合	観光バスの運転手の負担軽減のため速達性が重要。
	伊豆市商工会	安全性と利便性を確保しながらも観光客や地元の人たちに、ある程度回遊性を選択できる道路であることが求められる。
伊豆市商工会	現道活用した方が、周辺施設や景勝地へのアクセスがしやすい。	

1. 第2回意見聴取の結果 5)自由意見、ヒアリング結果(ルート帯案重要事項③)

- 自然環境面では、温泉やわさびの水源に配慮し、自然環境への影響を最小限に抑えることを求める意見が寄せられた。
- 景観面では、観光地という点から、景観に配慮を求める意見が寄せられた。
- 沿道環境面では、人家への影響や施工時の交通規制、現道活用した場合の渋滞や事故を危惧する意見が寄せられた。

分類	回答者属性	主な意見
自然環境	住民/東伊豆町/70歳以上	トンネルが多くなると天城山の地下水・生態系に大きな影響がありそうで心配である。
	団体/伊豆市	水源やワサビ生産等重要な産業、生命維持に必要な資源に悪影響を与えず、利便性の高い道路を考えて頂きたい。
	道路利用者/品川区	自然を壊さないように。地元で迷惑が掛からないようにしてください。
	伊豆観光局、道の駅下賀茂温泉湯の花	温泉源等の既存の社会生活環境へのマイナスの影響を極力抑えることが重要。
	山葵組合、伊豆太陽農協、伊豆市	道路整備の影響による、わさび田の水枯れを心配しており、水源に配慮したルートを希望する。
	下田土木事務所	タイヤの摩耗や排ガス等が雨で流れて行くことで川の水質が汚染される可能性があるため配慮が必要。
	下田市役所	伊豆半島のブランド力向上のため、各地で自然を活かした方策に取り組んでいるので、自然に配慮したルートが望ましい。
景観	住民/南伊豆町/60代	景観を楽しめる道路がいい。
	住民/下田市/70歳以上	最高の景色をもっている天城路。これからもすばらしい景観を末長く守ってほしい。
	静岡県東部支援局	観光目的の道路なので周辺の景観を楽しみながら走れることが重要。
	長泉町	トンネルが長いと観光客は伊豆の景観が見えなくなってしまう。トンネルは圧迫感も有る。
	東伊豆町商工会	美しい農村風景を損なわない道路が良い。
沿道環境	住民/伊豆市/60代	生活の利便性を優先して、整備して欲しい。
	道路利用者/山梨市	早く道路ができると良いです。山梨の様なトンネルの技術を活かした1本道だと地域住民にはあまり影響がないと思う。
	沼津土木事務所	沿道の騒音、振動への配慮が必要。
	静岡県	人家への影響はなるべく少ない方が良い。
	西伊豆商工会	施工時の現道の交通規制が少ないことが重要。
	河津町商工会、長泉町	現道活用は家屋連担区間を拡幅や線形改良となるので、住宅の移転もあり、沿道への影響が大きい。
	静岡県、下田市、伊豆の国市、大仁警察署、下田警察署	信号交差点があると渋滞が発生しやすくなり、追突事故も多くなるため、自動車専用道路が望ましい。

1. 第2回意見聴取の結果

5)自由意見、ヒアリング結果(ルート帯案重要事項④)

- 経済面では、事業費だけでなく、事業期間や費用対効果と合わせた検討を求める意見が寄せられた。
- その他に、早期開通や渋滞・事故への懸念、農業や漁業など観光以外の産業に関する整備効果に関する意見が寄せられた。

分類	回答者属性	主な意見
経済性	住民/河津町/50代	工事費も安価で工期も短く、自然環境に左右されない道路建設を望みます。
	住民/伊豆市/60代	整備費は安い方が良いが、道路に求められる機能を落とす様なことは有ってはならない。
	伊豆市商工会、西伊豆町、伊豆今井浜病院	多くの人が待ち望んでいる道路なので、安くて早くできることが重要。
	順天堂大学医学部付属静岡病院	現道活用する場合は、工事に時間がかかりすぎるのではないかと。機能的にもそれほどよくなると思わない。事業費もあまり安くならないと思う。
	下田土木事務所	トンネル区間が長い場合の残土処理費用がかかる。
その他	住民/松崎町/60代	西伊豆には電車が無いので特に早めに完成して欲しい。
	住民/下田市/60代	早く完成しないと利用する機会がなくなります。伊豆半島を抜けるのに1時間半かかるのは辛い。
	住民/下田市/60代	一般道利用は渋滞の発生が予想され、移動時間の短縮という大きな目標からはずれることになる。
	住民/南伊豆町/30代	バスなどの公共交通機関が渋滞などで遅れないようにして欲しい。
	住民/河津町/60代	長大なトンネルは走行によるストレスと事故発生リスクに伴う懸念があり安全性に問題を感じる。
	住民/伊豆市/70歳以上	天城の自然を壊さないで欲しい。人口が減少傾向なので、道路は不要なのではないか。
	静岡県、伊豆市、河津町、下田温泉旅館組合、順天堂大学医学部付属静岡病院、南伊豆町、西伊豆町、南伊豆町商工会	伊豆縦貫自動車道の早期開通を希望する。
	熱海土木事務所、道の駅下賀茂温泉湯の花	部分開通の選択肢が可能で、整備効果の早期発現ができるルートが良い。
	下田市観光協会、長泉町、田方南消防署	トンネル区間が長いと交通事故等が発生した場合に重大事故になりやすい。
	伊豆市、伊豆太陽農協、伊豆の国農協	わさび等の農産物の配送時間短縮・輸送範囲の拡大に期待しているので、速達性が重要。
	伊豆漁協	漁協から築地等の市場まで毎日輸送しているので、魚の鮮度が落ちないように早く運べ、荷崩れしにくい道路がよい。
	河津町商工会	河津町は伊豆半島南部の物流拠点であるので、速達性、確実性が向上することで流通範囲や機能向上に期待できる。
	伊豆市商工会	人口流出をストップするために、沼津市や三島市への通勤のしやすさが重要である。
	東伊豆町商工会、西伊豆町観光協会	背骨道路と合わせて沿岸地域を結ぶ肋骨道路の整備も重要。

1. 第2回意見聴取の結果

6)自由意見、ヒアリング結果(インターチェンジ重要事項①)

- 市街地との連絡性では、救急搬送時等に有効活用するために、市街地からのアクセスに配慮した配置を求める意見が寄せられた。
- 観光地との連絡性では、浄蓮の滝や道の駅天城越え等とのアクセスに配慮した配置を求める意見が寄せられた。
- アクセス道路の機能性では、災害時にも機能することや周辺の道路ネットワークを考慮した配置を求める意見が寄せられた。

分類	回答者属性	主な意見
①市街地(集落等)への連絡性が良いこと	住民/西伊豆町/60代	天城峠を越えての通院、買い物が楽になるため各集落へのアクセスのしやすさがとても重要である。
	静岡県、賀茂振興局、伊豆市商工会、裾野市	観光、救急搬送、通勤等を考えると、市街地(集落)等からのアクセスが良いことが重要。
	河津町商工会	伊豆急行河津駅方面へのアクセスが良い場所にフルサービスのインターチェンジを整備してほしい。
②周辺の観光地への連絡性が良いこと	道路利用者/静岡市	今も浄蓮の滝の渋滞が激しいので、浄蓮の滝にICを設置することが望ましい。
	住民/伊豆市/50代	観光名所へのアクセスが短い距離だと移動時間が短縮でき、観光ルートに組み込まれる。長いと寄ってもらえない。
	天城湯ヶ島温泉旅館組合、伊豆市観光協会、下田市商工会、河津町観光協会、伊豆市、西伊豆町、日本旅行業協会、修善寺温泉旅館組合	主要な観光地である浄蓮の滝や道の駅へ行きやすいようにインターチェンジを設置してほしい。
	沼津土木事務所	浄蓮の滝や旧天城トンネルなどは全国的な集客力があるが、近傍にインターチェンジがないと、観光客が減少する恐れがある。
	下田警察署、三島市	伊豆縦貫自動車道を通行する人の休憩場所として道の駅「天城越え」にアクセスできることが望ましい。
③アクセス道路が十分な機能を有していること	大仁警察署、河津町、渋谷区	大雨等の災害時でも乗り降りできるように事前通行規制区間外にインターチェンジを設置すべきである。
	東伊豆町	現在の国道414号にアクセスしやすいことが重要。
	熱海土木事務所	伊豆縦貫自動車道は伊豆半島で背骨になる道路となるため、既存の道路と一体的なネットワークとなるようインターチェンジを設置する必要がある。
	東伊豆町商工会、稲取温泉旅館協同組合	伊豆縦貫自動車道から西伊豆方面や東伊豆方面へのアクセスが良くなるように、将来的に肋骨になる道路と接続する場所にインターチェンジを設置することが望ましい。

1. 第2回意見聴取の結果

6)自由意見、ヒアリング結果(インターチェンジ重要事項②)

■その他、防災や救急に関するインターチェンジ整備の要望や景観、渋滞等への配慮を求める意見が寄せられた。

分類	回答者属性	主な意見
④その他	住民/西伊豆町/40代	天城湯ヶ島IC～河津IC間にICを作り、半島を東西に横断する道路が出来ると西海岸も便利になり、住民、観光客にもメリットが大きくなると思う。
	住民/伊豆市/50代	渋滞時の回避ルートとしてインターチェンジは必要と思います。
	住民/下田市/60代	今後、周辺の経済活性化に役立つことが重要である。
	住民/下田市/70歳以上	災害時の孤立化を防ぐためにも早急に完成して欲しい。
	住民/伊豆市/50代	事故発生時等に迂回ルートへのアクセスがスムーズにいくことが重要である。
	住民/河津町/60代	逆走する高齢者が多くなっているため、案内板の文字を大きくわかりやすくして欲しい。
	熱海土木事務所	静岡県では道の駅の防災拠点化を進めているので、道の駅へアクセスしやすいことが重要。
	下田消防本部、田方南消防署、 下田警察署	救急搬送や事故の観点から途中にインターチェンジがあった方がよい。
	沼津市	観光地内の通過交通を排除できるようにインターチェンジを設置することが重要。
	伊豆市商工会	有事の際には支援拠点から伊豆半島の東西南北へ支援活動を行うためにも、インターチェンジはフルインター化が望まれる。
	静岡県下田警察署	中間にインターチェンジがないと、事故発生時の現場到着が遅くなる。
	順天堂大学医学部付属静岡病院	インターチェンジを整備すると、広域な土地改良が発生するので、景観に配慮すべき。
	修善寺温泉協会、 道の駅花の三聖苑伊豆松崎	インターチェンジにより渋滞が発生すると、町へのアクセスが悪くなるので、渋滞が発生しにくくなるように配慮してほしい。